

# まちの話題

TOPICS

## 9/1・7 通学路危険箇所合同点検

千葉県八街市で発生した小学生5人が死傷する交通死亡事故を受け、教育委員会、警察、国土交通省、県土木事務所、建設水道課、環境安全課と学校担当者が通学路の危険箇所について合同点検を行いました。

9月1日は三方地域19箇所、9月7日は上中地域18箇所の危険箇所について現地を確認しました。

参加者らは危険箇所について学校担当者から説明を受け、警察や道路管理者に対し、道路に注意喚起の路面標示をすることや横断歩道の設置を要望することなど対策を話し合いました。



気山中村交差点にて



大鳥駅前交差点にて



## 9/4 若狭ライオンズが園庭整備

若狭ライオンズクラブが地域奉仕活動の一環で、昨年の三宅保育所に引き続き中央保育所の園庭に子ども達が遊ぶ築山を作ったり周りの樹木の剪定など、クラブ会員と保育所職員、園児の保護者ら約40人が作業をしました。井ノ口会長は「皆さんの協力で納得のいく作業ができたと思います。子どもたちに元気いっぱい走り回って遊んで欲しいです。今後も地域の方に喜ばれる奉仕活動を続けていきたい」と話していました。

## 9/5 若狭町戦没者追悼式

パレオ若狭音楽ホールにおいて、先の大戦において亡くなった町関係者の御霊を追悼する若狭町戦没者追悼式が開催されました。昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染防止対策のため規模を縮小して行われ、町遺族連合会や町関係者など40名が参列しました。

渡辺町長は「戦争の悲惨な体験を風化させず、平和の尊さを後世に語り継いでいくことは、今を生きる私たちに課せられた使命です」と式辞を述べました。



## 9/11 上ノ塚古墳、糠塚古墳発掘調査現地説明会

花園大学考古学研究室（京都市）が、8月19日より9月13日まで脇袋古墳群の上ノ塚古墳と糠塚古墳の発掘調査を行い、この日現地説明会を行いました。

それによると、古墳の周りを囲う周濠の調査により、町の6月から8月の調査でとなりの西塚古墳で発見された丸太の堰と同様の施設があったと考えられ、さらに上ノ塚古墳・西塚古墳・糠塚古墳と年代順・高低順になっているため、山の水をまず上ノ塚古墳の周濠にそ



そぎ、その後2つの古墳に流れていた可能性もあるそうです。また糠塚古墳は、今回前方部と後円部の境目となる遺構が見つかり、全長約60メートル超の前方後円墳と推定され、大きさや出土の埴輪破片により5世紀末の若狭国の首長墓である可能性が高いそうです。

この日は晴天で酷暑にもかかわらず、町内外より約90人の考古学ファンが詰めかけ、説明を熱心に聞いていました。

## 9/10 「下水道の日」街頭啓発活動

町内12施設の組合で組織している若狭町下水道施設管理組合連絡協議会が「下水道の日」に制定されているこの日、ショッピングセンターレピア（鳥浜）で買い物客に、流せるティッシュなどのグッズを配りました。「ゴミや廃油は流さないで」などと声かけし町民みんなの貴重な財産である下水道の正しい利用方法を渡辺町長も飛び入りで参加して呼びかけました。また、同店で8日から13日までパネル展も開催し、下水道の役割や仕組みを紹介しました。



### 三方中学校



### 上中中学校 (写真: 四方由紀子)



## 9/11 町内中学校 体育大会

三方中学校、上中中学校の体育大会が昨年同様新型コロナウイルス感染拡大防止の対策をとって行われました。生徒たちはリレーや玉入れなどで躍動した姿を披露し、パフォーマンスなど日頃の練習の成果を発表しました。

## 9/13 「岩屋梨」の収穫

みそみ小学校3年生17人が、学校近くの吉田清隆さん（岩屋）の農園で特産の「岩屋梨」の収穫を体験しました。

5月末に小袋かけ、7月初めに大袋かけの作業を手伝った児童たちは、この日大きくなった梨を丁寧に収穫していました。その後、試食もさせてもらい、みずみずしい梨を味わいました。

吉田さんによると今年は台風による被害もなく、心配していた病気も少なく豊作だそうです。「この梨は1年の苦勞の結果です」と児童たちに語りかけました。



## 9/14 魚さばき体験



三宅小学校5年生12人が、若狭三方水産研究会の指導で魚さばきに挑戦しました。三方地域の20代から40代の若手漁師で構成する若狭三方水産研究会のメンバー6人が同校に訪れ、サワラの幼魚のサゴシのさばき方を指導し、そのあとムニエルと煮付けにしました。

子どもたちは「最初の頭を切るのが固くて難しかった」とさばく時には格闘したようでしたが、試食では「普段は魚はあまり好きではなく刺身くらいしか食べませんが、今日の料理はめっちゃ美味しかった」と笑顔でした。



代表の長谷義彦さん（食見）は「若い人の魚離れが進んでいますが、これを機会に少しでも身近になり、好きになってもらえれば嬉しいです。これからも続けていきたい」と話していました。

## 9/15 「ゆりかご米」 稲刈り

三方小学校では、魚と無農薬米を育てて11年目となる「ゆりかご田」で、4～6年生54人が、稲刈りをしました。毎年5年生が中心に活動しています。前年度から引き継いだのは雑草（コナギ）対策でした。今年は地域の方々に指導してもらい、早い時期から除草作業を行いました。その効果もあり、今年は例年以上の実りとなったようです。

毎年お世話になっている松村光洋さん（鳥浜）らに稲刈りの仕方を教えてもらいながら、たわわに実ったコシヒカリを鎌で刈り取って運び、上野藤昌さん（鳥浜）のコンバインで脱穀しました。子どもたちにとっても、笑顔で充実の稲刈りとなりました。



## 9/16 ウクレレ講座開講!



福井県が進める音楽による地域づくり「おとまち@福井」プロジェクトの一環で、パレオ若狭でウクレレ講座が開講しました。初日の開講式にはウクレレ初心者17名がパレオ音楽ホールに集まり、講師の丁寧な指導の下、サークル活動が始動しました。

約2時間半の“部活動”でしたが、休憩時間も惜しんで熱心に練習されていました。

講座参加者（サークル部員）は月2回パレオ音楽ホールで開催される講座を受講し、3月に越前市で開催される合同発表会参加に向けて、約半年間ウクレレを練習します。

## 9/17 レインボーライン山頂公園案内ポスター完成

三方中学校では3年間通して「総合的学習の時間」に地域の探究活動「三方リサーチ」に取り組んでいます。1、2年時は自然・縄文・食文化など6分野について体験や学習をし、3年時からは興味ある分野ごとにグループ分けをして活動しています。

その中の「観光グループ」13人が「地元で馴染みのあるレインボーラインに若い人が来て欲しい。そして四季それぞれ魅力いっぱい若狭町を知って欲しい」とわかさ東商工会青年部のキャラクター「五湖レンジャー」を用い、うなぎと泳ぐ「三方レッド」、梅の実に囲まれた「水月グリーン」、水鳥に乗った「菅ピンク」などのイラストと、自分たちで考えた五湖の紹介文を制作しました。その原案をもとに株式会社レインボーラインの栗根支配人が案内図と組み合わせポスターを完成させました。

栗根支配人は「皆さんからの提案はお客様の目線に近いものがあり、こちらが気付かされることもあります。今後も地域をつなげる取り組みで、レインボーラインがエリアの情報発信の基地になればと思っています」と生徒たちと話していました。



## 9/27 若狭町上下水道事業経営審議委員会の開催



委員会の実施状況（リブラ若狭）

令和3年度の若狭町上下水道事業経営審議委員会がリブラ若狭で行われました。

この委員会は、若狭町の上下水道事業の経営全般について審議することを目的として令和元年度に設置され、これまでに上下水道ビジョンの策定や上下水道料金改定等の審議をしてきました。

この日の委員会では、令和3、4年度の委員として町内の有識者等9名に渡辺町長より委嘱が行われ、委員長に福井県立大学地域経済研究所の杉山友城准教授が選出されました。そのあと、令和元年度に策定された若狭町上下水道ビジョンに基づく事業の進捗状況の検証等が審議され、おおむね計画通りに進捗していることが確認されました。



渡辺町長から委嘱を受ける杉山委員長

# 安全で安心な上下水道に向けて

Vol.15

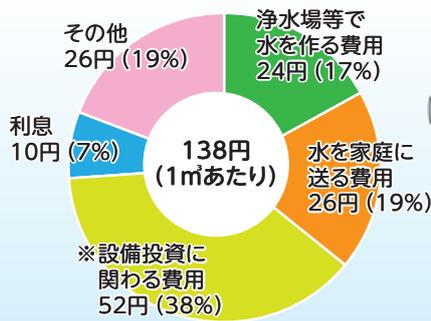
## 令和2年度の決算について

令和2年度の決算が9月議会にて認定されました。(9ページに関連記事)

そこで、今回は、令和2年度決算における基本的な統計指標(給水原価、汚水処理原価)について説明します。

### 1m<sup>3</sup>の水道水を作るのにいくらかかるの?

1m<sup>3</sup>の水道水を作る費用を給水原価といいます。  
約138円かかり、内訳は次のとおりです

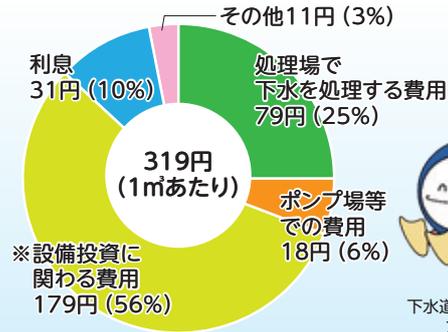


1m<sup>3</sup>=2ℓのペットボトル  
500本



### 1m<sup>3</sup>の下水を処理するのにいくらかかるの?

1m<sup>3</sup>の下水を処理する費用を汚水処理原価といいます。  
約319円かかり、内訳は次のとおりです。



※水道は水道事業と簡易水道事業を、下水は農業・漁業集落排水事業と公共下水道事業を統合し、みなしで算出しています。  
※設備投資に関わる費用については、企業会計は減価償却費を、特別会計は地方債償還金を計上しています。



## みかた温泉 きららの湯

## 健康通信

第16回

### 高血圧症のツボ療法

#### 高血圧症の原因

家庭で計って135/85mmHg以上、診察室での計測で140/90mmHg以上で高血圧症と診断されます。一般的な高血圧症で患者も多い「本態性高血圧症」は遺伝を背景に塩分の過剰摂取、肥満、運動不足、ストレスが原因となって発症します。「二次性高血圧症」は高血圧を引き起こす病気が特定されるもので、腎臓疾患、ホルモンバランスが崩れる甲状腺機能障害、交感神経の亢進を招く睡眠時無呼吸症候群も原因疾患となります。したがって血圧が高い場合には背景に病気が隠れていないかを検査する必要があります。

#### 高血圧症のセルフケア

○食生活の改善 ○運動習慣 ○生活習慣の改善

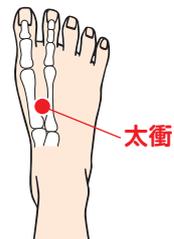
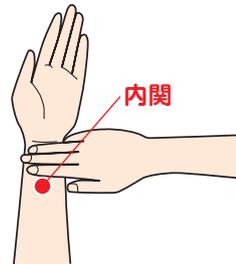
高血圧症患者では塩分は1日6g以下になるよう薄味に慣れましょう。味付けにレモンや酢などを使って減塩に努めます。ナトリウム排泄を促すカリウムを含む果物、野菜、海藻類を摂ります。乳製品に多いカルシウムや穀物類に含まれるマグネシウムの不足も血圧を高くしますので定期的に摂りましょう。運動にはウォーキングやサイクリングなどの有酸素運動を週に3回以上、1回30分間、軽く汗ばむ程度行います。体重を4~5kg減らすとほとんどの場合、血圧は低下します。喫煙は血圧を急激に上昇させます。禁煙しましょう。

#### 高血圧症のツボ「内関」<sup>ないかん</sup>「太衝」<sup>たいしょう</sup>

いずれも手足にあるツボです。末梢の血管を拡張させると同時に交感神経系の興奮を抑える、ホルモンバランスを整えるなど血圧の上がりにくい体質作りに有効なツボです。

**内関**…両腕の前面にあるツボです。手首のシワから指3本分の中央にとります。深呼吸しながら呼吸に合わせて親指腹でゆっくり押します。1日に左右5回ずつを3セット繰り返してください。

**太衝**…両足の甲にあるツボです。足の親指と示指の骨が合うところの前の凹みに取ります。1日1回、大の字に寝て、手足を伸ばした状態での温灸が効果的です。



自主的に、医療機関で受ける

# PCR検査に最大で2万円補助します

PCRとは、「ポリメラーゼ連鎖反応」(Polymerase Chain Reaction)の略で、新型コロナウイルスの検査で最も高精度とされています。新型コロナウイルスは鼻やのど、痰に潜んでおり、それらの検体を採取して判定するものです。



**対象となる方** 結果が「陽性」の場合医療機関等の指示に従ってください。

- ① 若狭町民で、やむを得ず、福井県外に出向く方
    - ※受験や就職活動、各大会、各行事等での往訪が対象です。
    - ※趣味、レジャー、観光、旅行等不要不急の往訪、仕事での往訪は対象外です。
  - ② 若狭町出身の県外在住者で、やむを得ず、若狭町へ来られる方
    - ※介護、家の管理(風通し、草刈り、除雪等)、里帰り出産・育児等が対象です。
- 他の制度により、PCR等検査補助を受けている方はこの補助の対象となりません。
  - 発熱外来や保健所などが実施するPCR等検査もこの補助の対象となりません。

**補助金の額** 検査には事前予約が必要です。  
かかりつけ、またはお近くの医療機関に連絡してください。

1人当たり上限20,000円(1人1回限り)

この補助金は、自主的に医療機関で受けるPCR検査費用の自己負担相当分です。  
ただし、1,000円未満は切り捨てます。

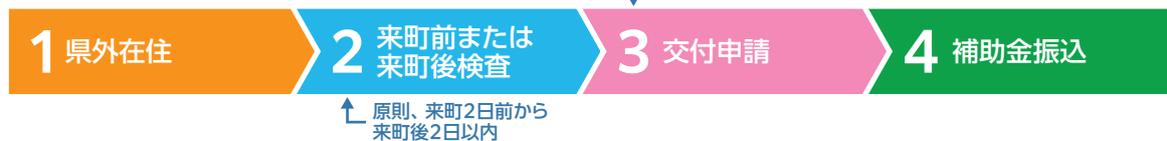
- 例 PCR検査費 22,000円 ▶ 補助額 20,000円
  - PCR検査費 16,500円 ▶ 補助額 16,000円
- (医療機関によって、検査費用は異なります。検査には事前予約が必要です。)

**申請の手順** 接触感染リスクを抑えるため、また遠方からの提出の利便を図るため、メールでの申請をお勧めします。

対象となる方①の場合



対象となる方②の場合



申請書類は若狭町ホームページから取得できます

若狭町保健医療課 〒919-1592若狭町市場20-18  
TEL:0770-62-2721 MAIL:hokeniryo@town.fukui-wakasa.lg.jp

若狭町

検索

